


2017年11月14日

各 位

会 社 名  株式会社 日阪製作所
 代 表 者 名 代表取締役社長 竹下 好和
 コード番号 6247
 上場取引所 東証 第1部
 問 合 せ 先 経営管理部部長 波多野 浩史
 電 話 番 号 06-6363-0007

**第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2017年5月15日に公表いたしました2018年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異 (2017年4月1日～9月30日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益(円) |
|------------------------------|--------|------|------|------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 12,350 | 453 | 603 | 422 | 14.13 |
| 実績値 (B) | 13,128 | 782 | 980 | 1,264 | 42.34 |
| 増減額 (B-A) | 778 | 329 | 377 | 842 | |
| 増減率 (%) | 6.3 | 72.6 | 62.7 | 199.5 | |
| (参考) 前期実績 (2017年3月期第2四半期) | 11,756 | 419 | 311 | 1,175 | 39.39 |

(差異の理由)

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高はプロセスエンジニアリング事業で染色仕上機器の売上が好調だったほか、事業全般において堅調な景気動向を反映し、想定を上回って推移いたしました。利益面では、増収効果に加えて熱交換器事業とバルブ事業で利益率が改善したことや有価証券償還益などの特別利益を計上したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて、当初の業績予想を大幅に上回る結果となりました。

また、受注高につきましても、前回発表予想12,500百万円から1,294百万円増加の13,794百万円(10.4%増)となりました。

2. 2018年3月期通期連結業績予想の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益(円) |
|------------------------|--------|-------|-------|---------------------|-------------------|
| 前回発表予想（A） | 24,710 | 1,013 | 1,213 | 849 | 28.44 |
| 今回修正予想（B） | 26,000 | 1,400 | 1,650 | 1,700 | 56.94 |
| 増減額（B－A） | 1,290 | 387 | 437 | 851 | |
| 増減率（%） | 5.2 | 38.2 | 36.0 | 100.2 | |
| （参考）前期実績 （2017年3月期） | 25,023 | 1,161 | 1,374 | 2,191 | 73.42 |

（修正の理由）

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び受注残の状況並びに足元の事業環境を踏まえ、上方修正いたしました。

また、通期の受注高につきましても、前回発表予想26,400百万円から600百万円増加の27,000百万円（2.3%増）に上方修正いたしました。

なお、期末配当金につきましては、当初予想通り1株当たり10円を予定しております。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

以 上